



撮影・岩波友紀

日本建築学会の会長に就任した

顔

和田 章さん 65

「耐震工学の専門家として揺れの建物への影響しか考えてこず、津波は氣にとめてこなかった。反省している」。約3万3000人の建築研究者が集まる学術団体のトップに今月就任。その記者会見で、東日本大震災に伴う津波被害を防げなかったことを謝罪した。

自責の念をバネに全力で取り組むのは、被災地の復興支援だ。土木や都市計画の研究者と連携し、「被災地の人々、歴史や文化、生活、産業を丁寧」に考えた街づくりができれば」と考える。

福島第一原子力発電所の事

（科学部 吉田昌史）